

平成 24 年度第 1 回定例会
スポーツ振興対策調査特別委員会説明資料

目 次

◎所管事項

- 1 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催について
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

○ 別冊資料

全国高等学校総合体育大会開催基準要項

平成 24 年 6 月 22 日

教 育 委 員 会

1 平成30年度全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)の開催について

1 現状(概要)

(1) 全国高等学校総合体育大会の概要

全国高等学校総合体育大会は、教育活動の一環として行われる高等学校運動部活動の日頃の成果を発表する場として開催され、29の競技を実施しています。

【開催期間】原則として8月1日から20日まで。

【実施29競技(平成24年度)】・体操・水泳・陸上競技・登山競技・自転車競技

・サッカー・バレーボール・ハンドボール・ソフトテニス・卓球・テニス

・バスケットボール・バドミントン・ソフトボール・ホッケー・カヌー

・ボート・ヨット・空手道・ウエイトリフティング・ボクシング・レスリング

・相撲・柔道・なぎなた・剣道・弓道・アーチェリー・フェンシング

(2) ブロック開催

平成22年度まで、都道府県単独開催を基本として行われておりましたが、平成23年度以降は全国を9ブロックに分け、ブロック開催として行われています。

〔H23 東北ブロック(北東北)青森、岩手、秋田、(宮城)〕

〔H24 北信越ブロック 新潟、富山、石川、福井、長野〕

(3) 東海ブロック開催

大会は輪番でブロック別に開催されることになっており、東海ブロックでは、平成30年度に三重県が中心開催県となり開催されます。

2 課題

(1) 東海ブロックにおける競技種目の割り振りと開催地の決定

平成26年8月までに、東海高等学校体育連盟から全国高等学校体育連盟に開催承諾書を提出します。

平成25年度末を目途に、29競技の各県開催担当種目を決定する必要があります。(開催市町まで決定しておくことが望ましい)

あわせて、中心開催県としてふさわしい競技種目数となるよう、より多くの種目の実施に向けて他県と調整・協議を進める必要があります。

(2) 推進体制の整備

大会に係る経費負担や実行委員会の設置等、推進体制の整備が必要になります。

(3) 教育委員会とスポーツ推進局との連携

大会において、本県の選手が優秀な成績を収めることができるよう、教育委員会とスポーツ推進局との連携を図る必要があります。

3 取組方針

(1) 平成30年度の開催に向けて、各県が開催する競技種目を決定するために、東海高等学校体育連盟、三重県高等学校体育連盟等関係団体、および東海ブロック各県の教育委員会、県内各市町と協議を進めます。

(2) 大会開催に向けた諸準備を円滑に行うため、先催県や開催予定のブロック各都道府県から情報収集を行います。

(3) 選手の育成・強化や、指導者の指導力向上を図るため、教育委員会とスポーツ推進局は、十分に連携をしております。

全国高等学校総合体育大会開催状況

年度	開催県	年度	開催県	年度	中心開催県・開催県	地区(ブロック)
S38	新潟	S62	北海道	H23	青森・秋田・岩手	東(東北)
S39	愛知	S63	兵庫	H24	新潟・福井・長野・石川・富山	中(北信越)
S40	大分	H1	高知	H25	大分・福岡・佐賀・長崎	西(九州)
S41	青森	H2	宮城	H26	東京・山梨・千葉・神奈川	東(関東)
S42	福井	H3	静岡	H27	未定	中(近畿)
S43	広島	H4	宮崎	H28	未定	西(中国)
S44	群馬	H5	栃木	H29	未定	東(東北)
S45	和歌山	H6	富山	H30	三重・愛知・岐阜・静岡	中(東海)
S46	徳島	H7	鳥取			
S47	山形	H8	山梨			
S48	三重	H9	京都			
S49	福岡	H10	香川			
S50	東京	H11	岩手			
S51	長野	H12	岐阜			
S52	岡山	H13	熊本			
S53	福島	H14	茨城			
S54	滋賀	H15	長崎			
S55	愛媛	H16	島根			
S56	神奈川	H17	千葉			
S57	鹿児島	H18	大阪			
S58	愛知	H19	佐賀			
S59	秋田	H20	埼玉			
S60	石川	H21	奈良			
S61	山口	H22	沖縄			

※ 東地区(北海道・東北・関東)、中地区(北信越・東海・近畿)、西地区(中国・四国・九州)